

特定非営利活動法人プロジェクトゆうあい

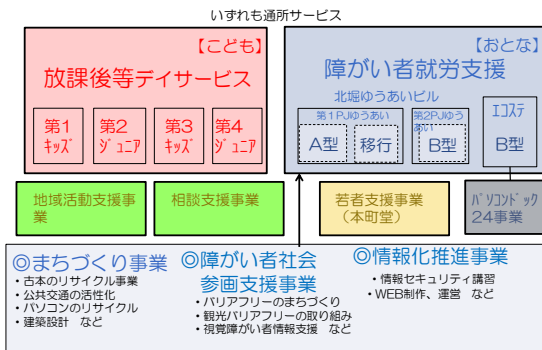
2025年度事業報告

2026/5/28

<2025プロジェクトゆうあい 役員>

代表理事	田中隆一	法人代表	就労事業責任者
副代表理事	青山修一	放課後等デイ責任者、法人会計	
理事	川瀬篤志	就労支援（エコステ）	
理事	斉木葉子	就労支援／法人会計、総務	
理事	角大介	放課後等デイ	
理事	山本綾子	就労支援（北堀）	
理事／非常勤	三輪利春		
理事／非常勤	足立正智	<鉛屋工房代表>	
理事／非常勤	曾田暢雄	<島根県教職員互助会>	
監事	野田哲夫	島根大学名誉教授	
監事	渡部直樹	NPO法人CSいずも	

<プロジェクトゆうあいの事業全体像>



2026.5.1時点 ()内数字は前年度からの増減

	正職員	準職員他	合計
就労・若者支援職員	11 (-1)	6	17 (-1)
放課後デイ職員	14	20	34 (-1)
相談支援・地活職員	5	0	5
小計	30 (-1)	26	56(-2)
障がい者就労Aスタッフ		5	5
障がい者就労Bスタッフ		57	57
就労移行スタッフ		6	6
若者(中間就労)		6	6
小計		74	74
合計			130

<障がい者就労支援事業>

■就労支援事業全体の経過

- 就労支援B型 古本、パソコンとも堅調
バスブックの松江公式時刻表へ
あげそげばけバス停リニューアルデザイン
- 就労支援A型 八重垣団地等改修設計等受託他
- 就労移行支援事業 1人就職の実績
利用者が7人に、在宅利用2人
- 売上
・給付売上：前年度7,900万円から8,900万円に +1,000万
(就労移行利用者増、北堀就労B利用者増が寄与)
・事業売上：前年度4,000万円から4,400万円に +400万
- 認可、運営指導
・第2プロジェクトゆうあい5年ごとの指定更新
・第1、第2プロジェクトゆうあい 松江市運営指導

■就労支援で取り組む主な事業

- 視覚障がい者情報提供
・市報のデジ版製作 (毎月)、選挙デジ版
・点字名刺受託
・触知図制作



- 古本リサイクル事業
・ネットでの販売、みしまや販売、イベント販売を着実に推進
・ブックカバー復調の傾向



●バリアフリー推進

- ・てくてく日和4回発行 51-54号
- ・島根県ユニバーサルツーリズム推進事業の受託（観光ナビサイトへコンテンツを提供他）



●施設外就労

- ・久米の家の清掃業務受託
- ・駅前テルサでの販売事業
- ・県庁すまいるでの販売



●公共交通事業

- ・どこでもバスブック松江2025（松江市が買い上げ）
- ・26年度版の公式時刻表化に向けて協議、制作
- ・縁結びバスマップ
- ・バス停クリーンアップ



●菜園事業

- ・ゆうあいビル屋上での菜園事業、販売はテルサなど（年度末から休止）



●PCリサイクル事業

- ・パソコンの分解、資源として販売
- ・データ消去
- ・中古PCの販売
- ・地域貢献としてのパソコン解体教室



●はんこ屋

- ・ゆうあい
- ・ネットからの注文順調



●パソコンドック事業

- ・全国チェーンであるパソコンドック24の松江店として、パソコン等の修理



<若者支援事業 本町堂運営>

●本町堂において、不登校やひきこもりなどの若者を受け入れる場

- ・中間就労としての運営
- ・居場所としての運営
- ・季節イベント ・しらかた土曜夜市への参加
- ・補助金のあり方について松江市と協議



<放課後等デイサービス事業>

●4事業所の療育

- ・定期的な研修会
- ・取組み報告会

●様々な所外活動

●地活にて作品展

●就労支援との連携

- ・就労支援について情報交換会
- ・就労支援事業所見学会（保護者向け）

●認可、運営指導

- ・第1、第4 松江市運営指導



●季節のイベント開催

- ・アウトドア体験（ゴズ釣りほか）
- ・クリスマス会（各事業所）
- ・卒業式、卒業式後の保護者懇親会

●給付売上

- ・給付費：前年度9,500万円/年から7,800万円に前年度比▲1,700万円
- ・定員に対する充足率の低下

＜相談支援・地活＞

- 相談支援事業所 相談支援専門員2人体制継続
主任相談支援員加算の取得
給付収入930万円（前年度比+180万円）
- 地域活動支援センター ブックカフェ、ラーメンの日、リサイクルバザー、地域食堂、レクリエーション他



＜法人全体として＞

●20周年記念事業

- ・てくてくマップ改訂版制作
- 各種の懇親イベント
- ・各事業所ごと懇親会実施
- ・城北福祉まつり実施

●事業マネジメント

- ・事業所単位の目標設定
- ・管理者による個人面談、個人目標制度の開始

●有給休暇の取得推進

- ・2025年度実績48%（前年度53%から▲5%）

●産休・育休の取得推進

- ・対象者なし

●世代交代に向けて

- ・次世代経営勉強会が2年目 2人受講



＜2025収支決算の概要＞

2025年度総収入：2億3千3百万円（前年度比 ▲100万円）
 総支出：2億3千5百万円（前年度比 +600万）
 利益：▲230万円（前年度比 ▲700万）

＜収入＞

- 介護給付事業-児童：33%
- 相談支援事業：4%
- 訓練等給付事業-就労：39%
- 就労支援に関わる事業収入：約18%
- ・委託事業
- ・助成事業
- ・自主事業
- 補助金、助成金等：約6%
- ・地域活動支援センター事業
- ・若者支援事業
- ・その他
- 寄付・会費（1%未満）

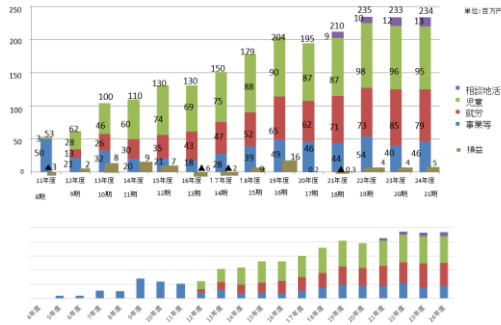
＜支出＞

- 人件費：73%
- 家賃：5%
- その他経費22%

＜人件費支出＞

給与、賞与、役員報酬、法定福利費の合計
 前期16700万円
 今季17200万円
 500万円増

＜経年の売上推移＞



<2025年度のよかったこと・反省>

■よかったこと

- 正社員に2.5か月の賞与を支給、定期昇給の実施
- 就労移行支援事業、利用者の大幅増
- 就労事業全体での売り上げ、利益アップ
- 放課後デイ 各種催し、所外活動
- 大きな事故がなかった

■反省、課題

●経営面

- ・法人全体での赤字決算 放課後デイの大幅な赤字が要因
- ・就労移行支援事業のさらなる利用者増
- ・放課後デイ、就労支援とも定員に対する充足率アップ

●事業面

- ・現在の事業のブラッシュアップ、新規事業開拓、取捨選択

●人材、組織面

- ・正職員の離職1名あった
- ・風通しの良い意見の言いやすい環境づくり（継続）
- ・管理者をトップにした事業所マネジメントの徹底
- ・着実な研修の仕組みの整備
- ・職員報酬をさらに上げていくこと